

第64回

北海道手をつなぐ育成会 全道大会

# 名寄大会

令和元年7月27日(土)・28日(日)



開催  
要綱

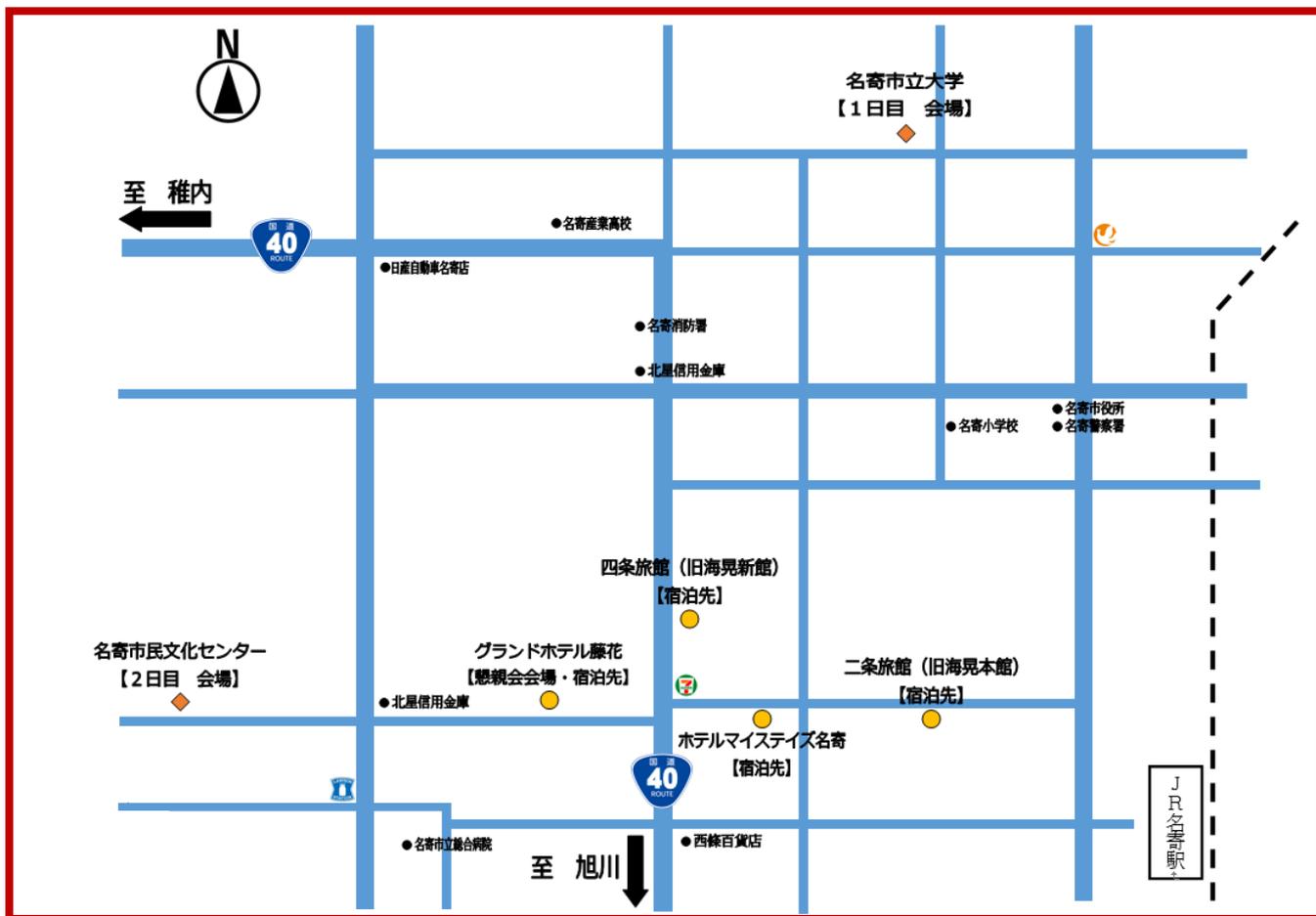
会 場：名寄市立大学・名寄市民文化センター・グランドホテル藤花

主 催：北海道手をつなぐ育成会

名寄心と手をつなぐ育成会

上川地区手をつなぐ育成会連絡協議会

# 宿泊先ホテル・各会場マップ



## 宿泊先ホテル

ホテル名	住所	電話番号
グランドホテル藤花 (新館)	名寄市西 5 条南 4 丁目	TEL : 01654-3-2323
ホテルマイステイズ名寄	名寄市西 3 条南 5 丁目	TEL : 01654-8-8100
二条旅館 (旧海晃 本館)	名寄市西 2 条南 5 丁目	TEL : 01654-3-1117
四条旅館 (旧海晃 新館)	名寄市西 4 条南 4 丁目	TEL : 01654-2-3343

## 大会会場

会場名	住所	電話番号
名寄市立大学 7月27日(土) 大会会場	名寄市西 4 条北 8 丁目 1 番地	TEL : 01654-2-4194
名寄市民文化センター 7月28日(日) 大会会場	名寄市西 13 条南 4 丁目 2 番地	TEL : 01654-2-2218
グランドホテル藤花 7月27日(土) 懇親会会場	名寄市西 5 条南 4 丁目	TEL : 01654-2-2323

# 第64回北海道手をつなぐ育成会全道大会 名寄大会 開催要綱

## ◆大会趣旨

平成30年4月、障害者総合支援法の一部が改正施行され、これまで課題とされてきた就労定着や自立生活、また障害の重度化や利用者の高齢化に対応した新たなサービスが追加され、同時期に行われた、3年ごとに見直される「障害報酬改定」についても0.47%のプラス改定となっており、以前よりも福祉制度や福祉サービスは前進し、障がい者を取り巻く環境は着実に改善されてきています。

また、一方では、津久井やまゆり園事件は記憶に新しく、私たちに大きな衝撃をもたらしました。旧優生保護法や障害者雇用の水増し問題等、差別と偏見に満ちた課題は未だに多く残されています。今まで積み上げてきた事柄を再確認し、そこに社会の連帯性と共感がもたらされるよう積み重ねていかなければなりません。

道内各地の育成会は、行政を含む、様々な方々と協力、協同し、地域に根差した地道な活動をベースに、子ども達の教育の場、とりわけ、後期中等教育の場の保障、青年達の働く場の確保、自立した生活支援を図るためのグループホーム等の充実に取り組み、大きな成果を得てきました。しかし、こうした、福祉制度や、福祉施策の前進により、かつてほど、困り感を持つ方々は少なくなり、個々人が組織に所属することに躊躇する、時代的な背景も加わって、新たな会員を迎えることが少なくなってきました。また、所属する会員の高齢化も否めないことから、活動に困難をきたしています。

様々な課題がある中、育成会には、たくさんの期待の声が寄せられています。今、まさに、活動の活性化、組織の拡大、強化が求められているのです。困難に背を向けることなく、真正面に受け止め、知恵を出し合い、仲間と共に前進し、改めて、本人、家族が元気になれる育成会活動をめざしたいと思います。

それには、育成会連合会発足時の趣旨に立ち戻ることが大切です。「親亡き後、この子達はどやうやって自立をしていけるのか」、「親はそのために何をなすべきなのか」、「真の自立」を考えた時、経済的自立は必要不可欠であり、これを成すことで他の自立が図られ、人は自分らしく生きられると考えます。「障がいがあってもなくても、人間として変わらない」と謳うのであれば、私たちはそういった社会の実現のために、国や道、各自治体や地域、子ども達を支援する施設に声を上げ続けていく団体であるべきではないでしょうか。今一度、様々な人々と出会い、語り合い、つながり合い、制度や支援の仕組みを勉強し、辛さも、希望も語り合うこの大会こそが、私たちの声となっていくに違いありません。

全国や、全道の育成会活動はもちろん、福祉に係る様々な団体、個人と連携し、貪欲に学び合  
いましょう。そして、障がいの有無にとらわれず、一人一人が持つ命の重さに思いをさせ、社会  
的障壁がもたらす「暮らしづらさ」を一つひとつ克服する道筋を明らかにしながら、その先にあ  
る、お互いの人格と個性を尊重し合える、真の『共生社会』の実現に向け、全道大会・名寄大会  
が、全ての参加者にとって、心一つに、新たな知恵、新たな勇気、新たな決意を分かち合える場  
にしようではありませんか。

◆大会テーマ 「楽しく働き、楽しく暮らし、自分らしく生きよう」

◆大会スローガン 「真の自立とはなにか！～満天の星、北の大地、緑の里、名寄から～」

◆大会期日 令和元年7月27日（土）～28日（日）

◆大会会場 名寄市立大学・名寄市民文化センター・グランドホテル藤花

◆主 催 一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

名寄心と手をつなぐ育成会

上川地区手をつなぐ育成会連絡協議会

◆後 援 北海道 北海道教育委員会 名寄市 名寄市教育委員会 名寄市立大学

上川管内町村会 北海道社会福祉協議会 名寄市社会福祉協議会

北海道知的障がい福祉協会 北海道障がい者職親連合会

なよろ地方職親会 発達障害者支援道北地域センター「きたのまち」

道北障害者就業・生活支援センターいきぬき 北海道共同募金会

名寄市共同募金委員会 名寄市民生委員児童委員連絡協議会

名寄地区精神障害者家族会 名寄身体障害者福祉協会

上川北部聴覚障害者協会名寄支部 社会福祉法人名寄みどりの郷

社会福祉法人道北センター福祉会 社会福祉法人なよろ陽だまりの会

旭川市 士別市 富良野市 鷹栖町 東神楽町 当麻町 比布町 愛別町

上川町 東川町 美瑛町 上富良野町 中富良野町 南富良野町 占冠村

和寒町 剣淵町 下川町 美深町 音威子府村 中川町 幌加内町(予定)

# 第64回北海道手をつなぐ育成会全道大会名寄大会

## 大会期日・大会日程・会場

7月27日(土)		7月28日(日)	
<b>分科会</b>		<b>大会式典・中央情勢報告・記念講演・閉会式</b>	
会場：名寄市立大学		会場：名寄市民文化センター EN-RAYホール	
9:30	受付開始 ・会場移動	8:30	受付開始
10:30	分科会開始 ・基調報告	9:00	大会式典 ・手をつなぐ母の歌斉唱 ・大会長あいさつ ・大会実行委員長あいさつ ・北海道知事あいさつ ・名寄市長あいさつ ・感謝状、表彰状贈呈 ・来賓祝辞、来賓紹介 ・祝電披露
12:00	昼食・休憩		
13:00	分科会再開 ・シンポジウム		
16:30	分科会終了 懇親会会場へ移動	10:00	中央情勢報告
18:30	懇親会 会場：グランドホテル藤花 2階 大雪・銀河の間	10:20	記念講演 毎日新聞社 論説委員 講師 野澤 和弘 氏
20:30	閉会	11:50	分科会総括 本人大会宣言 大会宣言決議 次期開催地あいさつ
		12:20	閉会

# 受付会場・各会場のご案内

7月27日(土)

内 容	場 所
大会参加受付総合案内	名寄市立大学1号館 玄関ロビー
会員A分科会	名寄市立大学図書館1階 大講堂
会員B分科会	名寄市立大学3号館2階 大講義室321
会員C分科会	名寄市立大学2号館2階 中講義室222
会員D分科会	名寄市立大学1号館3階 大会議室
会員E分科会	名寄市立大学3号館2階 中講義室322
本人第1分科会	名寄市立大学2号館1階 講義室211
本人第2分科会	名寄市立大学2号館2階 講義室212
本人第3分科会	名寄市立大学2号館1階 臨床栄養実習室
本人第4分科会	名寄市立大学2号館1階 栄養教育実習室
本人大会全体会・シンポジウム	名寄市立大学3号館1階 体育館
チャレンジド参加者受付	名寄市立大学2号館1階 多目的ホール
チャレンジド参加者活動場所及び解散場所	名寄市立大学2号館1階 多目的ホール
思い出観光参加者受付及び解散場所	名寄市立大学2号館 玄関前
懇親会	グランドホテル藤花2階 大雪・銀河の間

7月28日(日)

内 容	場 所
大会参加受付総合案内	名寄市民文化センター 西館 ホワイエ
大会式典・中央情勢報告	名寄市民文化センター 西館 EN-RAYホール
記念講演	
閉会式	
チャレンジド参加者受付	名寄市民文化センター 東館 ホワイエ
チャレンジド参加者活動場所及び解散場所	名寄市民文化センター 東館 大会議室
アトラクション	名寄市民文化センター 東館 多目的ホール

## 会場

場 所	住 所	電 話 番 号
名寄市立大学	名寄市西4条北8丁目1番地	01654-2-4194
名寄市民文化センター	名寄市西13条南4丁目2番地	01654-2-2218
グランドホテル藤花	名寄市西5条南4丁目	01654-3-2323

# 第64回北海道手をつなぐ育成会全道大会 名寄大会分科会一覧

	分科会	討議テーマ	基調報告
A 分科会	<b>発達・教育</b> (市民公開分科会) ◆市立大学図書館 大講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいへの理解と地域啓発</li> <li>・育つを支える家族支援のあり方</li> <li>・切れ目のない相談支援のあり方</li> <li>・教育と福祉の連携について</li> <li>・高等支援学校の現状と課題</li> <li>・インクルーシブ教育の現状と課題</li> </ul>	名寄市立大学 保健福祉学部社会保育学科 教授 <b>安永啓司氏</b>
B 分科会	<b>就労・日中活動</b> ◆市立大学3号館 2階 大講義室321	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用と定着支援と移行支援</li> <li>・働くを支える相談支援のあり方</li> <li>・報酬改定とA型・B型の今後のあり方</li> <li>・本人、家族に寄り添う支援とは</li> <li>・職員がやりがいを持って働くために</li> <li>・重度化、高齢化と日中活動のあり方</li> <li>・農福連携のあり方</li> </ul>	名寄市役所 健康福祉部社会福祉課 主幹 <b>柴野武志氏</b>
C 分科会	<b>暮らす</b> ◆市立大学2号館 2階 中講義室222	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かな暮らし」とは</li> <li>・暮らすを支える相談支援のあり方</li> <li>・重度対応型共同生活支援事業について</li> <li>・地域生活支援拠点事業について</li> <li>・グループホームの現状と課題</li> <li>・在宅を支える短期入所事業のあり方</li> <li>・本人の想いに添った暮らしをつくる</li> <li>・災害時の対応について</li> </ul>	社会福祉法人あかしあ労働福祉センター あかしあ障害者総合相談支援センター 管理者 <b>植田香美氏</b>
D 分科会	<b>高齢</b> ◆市立大学1号館 3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳介護保険優先の原則について</li> <li>・65歳前に現れる加齢変化について</li> <li>・親も高齢、子も高齢をどう支えるか</li> <li>・重度対応型、地域生活支援拠点は、高齢、親なき後の対策となりうるのか</li> <li>・親なき後の安心と成年後見</li> <li>・成年後見制度のあり方</li> </ul>	旭川大学保健福祉部 コミュニティ福祉学科 教授 <b>林芳治氏</b>
E 分科会	<b>育成会活動</b> ◆市立大学3号館 2階 中講義室322	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成会活動の今とこれから</li> <li>・育成会活性化のために</li> <li>・命の重さ、権利擁護と育成会活動</li> <li>・差別解消法と合理的配慮</li> </ul>	全国手をつなぐ育成会連合会 会長 <b>久保厚子氏</b>

コーディネーター	シンポジスト
<p>名寄市立大学 保健福祉学部社会保育学科 教授 安永啓司氏</p>	<p>・名寄市立名寄南小学校 教諭 中島雅人氏 ・北海道旭川高等支援学校 教頭 宮田樹哉氏 ・札幌ぽぷら会 調整中</p>
<p>名寄市立大学 保健福祉学部社会福祉学科 准教授 矢口明氏</p>	<p>・かんだファーム 代表 神田勇一郎氏 ・北海道はまなす食品株式会社 包装事業部チーフ 二ノ文恵二氏 ・北海道美深高等養護学校 教諭 調整中 ・社会福祉法人名寄みどりの郷 就労継続支援事業所ハートフル・みらい 所長 吉川展光氏</p>
<p>登別市手をつなぐ育成会 事務局長 山田大樹氏</p>	<p>・NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会 家族 松明孝恵氏 ・社会福祉法人なよろ陽だまりの会 陽だまり 本人(世話人) 佐藤しづ氏 ・NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会地域生活支援センターらいふ サービス管理責任者 福田博之氏</p>
<p>旭川大学保健福祉部 コミュニティ福祉学科 准教授 浦田泰成氏</p>	<p>・旭川成年後見支援センター センター長 石戸谷康治氏 ・社会福祉法人鷹栖共生会 ぴあふる岩山 施設長 一般社団法人旭川手をつなぐ育成会 監事 松平昇三氏 ・名寄市民生委員児童委員 調整中</p>
<p>調整中</p>	<p>・札幌市手をつなぐ育成会 会長 長江睦子氏 ・社会福祉法人名寄市社会福祉協議会 小笠原志朗氏 ・オホーツク地区手をつなぐ育成会連絡協議会 事務局長 遠藤昭男氏</p>

# 記 念 講 演

## 『自分らしい生き方とは何か～自立と共生について』

**講師：野澤和弘氏**

**毎日新聞社 論説委員**

【野澤和弘氏プロフィール】

1959年10月生まれ 毎日新聞論説委員

【略歴】

1983年4月 毎日新聞入社

2009年4月 毎日新聞論説委員

【役職】

社会保障審議会 障害者部会委員

障害者政策委員会 委員

植草学園大学 客員教授

上智大学 非常勤講師 など

【著書・編著】

「なんとなくは、生きられない」(ぶどう社)

「障害者のリアル×東大生のリアル」(ぶどう社)

「条例のあるまち」(ぶどう社)

「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規) など



障害者自立支援法が施行されて13年目。国の予算は当初の4倍になり全国各地で放課後等デイサービスや就労系事業所が増えてきており、グループホームの入居者も10万人を超えている。虐待防止法や差別解消法など権利擁護の制度も整ってきています。

しかし、障害のある人を中心とした福祉になっているのだろうか。障害者は自分らしい生き方が出来ているのだろうか。地域共生社会の必要性に光が当たるようになった今、改めて障害者の支援について共に考えましょう。

# ほん じん たい かい 本人大会

ほんにんたいかい

## 本人大会テーマ

「ひろげよう仲間の輪を！自分らしく生きる明日をめざして」

ほんにんたいかい

## 本人大会スローガン

「私たちのことは、必ず私たちを交えて決めることをみんなに呼びかけよう」

「道北の地・名寄から語り合い、気づき合い、響き合い、友情を深めよう」

たいかい 大会1日目	にちめ 7月27日	がつ (土)	たいかい 大会2日目	かめ 7月28日	にち (日)
9:30	うけつけ 受付		8:30	うけつけ 受付	うけつけ 受付
↓			↓		
10:30	ぶんかかい 分科会		9:00	たいかいしきてん 大会式典	アトラクション
↓			↓		おんがくワークショップ ・音楽WS
12:00	ちゅうしょく きゅうけい 昼食・休憩		10:00	ちゅうおうじょうせいほうこく 中央情勢報告	・もちつき体験
↓			↓		
13:00	ぶんかかいほうこく 分科会報告		10:20	きねんこうえん 記念講演	
↓			↓		
14:00	ぜんたいかい 全体会・シンポジウム		11:50	ほんにんたいかいせんげん 本人大会宣言	
↓			↓		
16:00	へいかい 閉会		12:20	へいかい 閉会	へいかい 閉会
↓					
18:30	ほんにんこうりゅうかい ごんしんかい 本人交流会・懇親会				
↓					
20:30	へいかい 閉会				

※大会2日目には、チャレンジ登録者以外の本人の方で、大会式典や記念講演を希望しない方々に向けて、アトラクションコーナーを設けました。詳細は14ページをご覧ください。

第64回北海道手をつなぐ育成会全道大会 **なよろたいかいほんにんたいかいいちらん**  
**名寄大会本人大会一覧**

	ぶんかかい 分科会テーマ	とうぎ 討議テーマ・内容
だい 第1分科会	さいがい 災害について	ちようせいちゆう 調整中
だい 第2分科会	しごと 仕事について	ちようせいちゆう 調整中
だい 第3分科会	ほुरりつ さべつ 法律・差別 について	ちようせいちゆう 調整中
だい 第4分科会	なん 何でも かた あ 語り合える	ちようせいちゆう 調整中
だい 第5分科会	おも で かんこう 思い出観光	いきさき 行先 しりつてんもんだい なよろ市立天文台きたすばる たいけん ボッチャ体験

第64回北海道手をつなぐ育成会全道大会 **なよろたいかいほんにんたいかいぜんたいかい**  
**名寄大会本人大会全体会・シンポジウム**

ぜんたいかい 全体会 シンポジウム	ちようせいちゆう テーマ 「調整中」
-------------------------	-----------------------

(7月27日 10:30~12:00)

運営・司会	発表者・助言者ほか
運営：札幌みんなの会 司会：調整中	調整中
運営：旭川働く仲間会・当麻かたるべの輪 たるまえ会 司会：調整中	調整中
運営：トゥモローくしろ 司会：調整中	調整中
運営：伊達わかば会 司会：調整中	調整中
運営：名寄心と手をつなぐ育成会	調整中

(7月27日 14:00~16:00)

運営：名寄陽だまり本人部会・函館いかす会 司会：調整中
--------------------------------

おも で かんこう  
思い出観光

ほし  
星とひまわり  
パラスポーツ

たいけん あんない  
体験ツアーのご案内

令和元年

7/27  
SAT

こうてい  
■行程

なよろ しりつだいがく しゅつぱつ しりつてんもんだい とうちやく けんがく  
名寄市立大学 出発 ⇒ なよろ市立天文台 きたすばる 到着 ・ 見学 ⇒  
なよろ おんせん サンピラーにて ちゅうしょく 昼食 ジングスカン ⇒  
サンピラーフォレストにて ボッチャ たいけん 体験 ⇒  
なよろ しりつだいがく とうちやく  
名寄市立大学 到着

も もの ふだんの くすり あまく  
■持ち物 普段飲んでいる薬 ・ 雨具



ボッチャとは・・・

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた、障がい者のために考案されたスポーツで、2020年東京オリンピック・パラリンピックの正式種目となっています。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。ルールが氷上で行われるカーリングと似ているところから、「地上のカーリング」、「床の上のカーリング」とも言われています。

じ かん じゅつぱつ とうちやく  
時 間 10:40 出発 ~ 16:00 到着

さんかひ ひひとりさま つきそ しえんしゃ ほごしゃ どうがく  
参加費 お一人様 3,500円 (付添いの支援者・保護者も同額です)

※お願い

- ・ 申込は大会参加申込書の「思い出観光」の欄に○をつけて下さい。
- ・ 支援の必要な方は併せて「個人調査票」も記入してお申し込みください。
- ・ 当日は10:30までに受付をお願いします。

○問い合わせ先 名寄心と手をつなぐ育成会 Tel.01654-3-1221 【担当 長橋】



## チャレンジのご案内

### チャレンジとは・・・

『障がいのある人』を表すアメリカ生まれの新しい言葉です。障がいをポジティブにとらえ、社会の中で生きていく意欲に満ちた言葉です。比較的見守りや支援が多く必要で、本人部会や思い出観光に参加できない方々に向けて、企画された本人活動の場です。北海道では名寄が5回目の開催になります。2日間を通していろんな体験やチャレンジができる場として企画しました。

【日 時】 令和元年7月27日（土）10：30～16：30

7月28日（日） 9：00～12：00

【定 員】 50名 【参加費】 3,000円（弁当代込）

※動きやすい服装でお越し下さい。※着替えなど各自でご用意ください。



### チャレンジ活動内容

#### 【1日目】

○音楽ワークショップ

「バケツとガムテープで太鼓を作ってみんなでロックンロールしよう！」

講師：かしわ哲・酒井まゆみ（サルサガムテープ）

○缶バッジづくり体験 ○絵画 など

#### 【2日目】

○音楽ワークショップ ○もちつき体験



自由に過ごせるスペースもあるので、自分のペースで参加できます！

#### ○会場について

7月27日（土）名寄市立大学 名寄市西4条北8丁目1番地（TEL 01654-2-4194）

7月28日（日）名寄市民文化センター 名寄市西13条南4丁目2番地（TEL 01654-2-2218）

※開催要綱に記載しています、地図をご確認ください。

※申し込みは、『大会参加申込書』のチャレンジの欄に、○をご記入ください。併せて、『参加者個人調査票』もご記入し、一緒にお申し込みください。

※同伴児の参加につきましては、本人参加を優先いたしますので、参加希望数によっては、ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。

○問い合わせ先 名寄心と手をつなぐ育成会 TEL 01654-3-1221 【担当 長橋】

ほっかいどうて いくせいかいぜんどうたいかい なよろたいかい  
**北海道手をつなぐ育成会全道大会 名寄大会**  
たいかい かめ あんない  
**大会2日目 アトラクションのご案内**

こんたいかい はっかいさい  
**今大会より初開催!**

**7/28**  
**(日)**



**アトラクションとは・・・**

こんたいかい はっかい ところ  
今大会より初の試みで、チャレンジに  
とうろく ほんにん かた たいかい かめ  
登録していない本人の方で、大会2日目の  
たいかいしきてん きねんこうえん きぼう ほんにん  
大会式典や記念講演を希望しない本人の  
かたがたむ もう  
方々向けに、アトラクションコーナーを設  
けました。

おんがく みな たの  
音楽やもちつきなど、皆さんが楽しい  
じかん す ようい  
時間を過ごすためのプログラムを用意し  
ていますので、ぜひご参加ください。

かつどうないよう  
**アトラクション活動内容**

- おんがく  
○音楽ワークショップコーナー      ○もちつき体験コーナー  
ししょく  
○もち試食コーナー

たいかい にちめ  
**大会2日目をアトラクションコーナー**

たの す  
**で楽しく過ごそう!**

かいじょう  
○会場について

がつ にち にち なよろしみんぶんか たもくてき  
7月28日(日) 名寄市民文化センター多目的ホール

なよろしにし じょうみなみ ちようめ ばんち  
名寄市西13条南4丁目2番地 (TEL 01654-2-2218)

かいさいようこう きさい ちず かくにん  
※開催要綱に記載しています、地図をご確認ください。

もう こ たいかいさん かもうしこみしょ らん まる きにゅう  
※申し込みは、『大会参加申込書』のアトラクションの欄に、○をご記入ください。

と あわさき なよろこころ て いくせいかい TEL 01654-3-1221 【担当 長橋】

おち でかんこう  
 「思い出観光」・「チャレンジド」参加者個人調査表

もうしこみ さい ていしゅつ  
 申込の際に提出してください。

きにゅうねんがっぴ 記入年月日	へいせい 平成 れいわ 令和 ねん 年 がつ 月 にち 日	さんかぶんかかい 参加分科会 (○をつけてください)	おち でかんこう 思い出観光 ・ チャレンジド		
ふりがな 本人氏名	(男・女)		ほんにん 本人がわかり やすい呼び方		
せいねんがっぴ 生年月日	しょうわ・へいせい 昭和・平成 ねん 年 がつ 月 ひ 日 ( さい 歳)	けつえきがた 血液型	A/O/B/AB型 RH型 +/—	ほごしゅ 保護者 しめい 氏名	
てちょう 手帳の種類	りょういくてちょう 療育手帳(A・B)		せいしんしょうがいしやてちょう 精神障害者手帳( 級)	しんたいしょうがいしやてちょう 身体障害者手帳( 級)	
じゅうしょ 住所	〒				
でんわ 電話	自宅 FAX				
しえんしやまた 支援者又は、 とうじつきんきゅうれんらくさき 当日緊急連絡先	なまえ お名前		( ぶんかかいさんか 分科会参加)	けいたいばんごう 携帯番号	
しょうがい せいかく 障害・性格 こうどう ぐくちゆう 行動の特徴					
ほっさ 発作やパニック クについて	ほっさ 発作やパニックがある方は、具体的に気を付ける点、支援の方法を記入してください。				
コミュニ ケーション	かのう ・ ほんにん 可能 ・ 本人に合わせれば可能 ・ かいじよひつよう 介助必要 しえんほうほう 支援方法 ( )				
い どり 移動	じりつ ・ みまち 自立 ・ 見守りや声掛け必要 ・ かいじよひつよう 介助が必要 ・ くるまいす 車椅子や補助具使用 しえんほうほう 支援方法 ( )				
はい せつ 排泄	しようするトイレの種類 ( しょうがいしやよう 障害者用 ・ ようしき 洋式 ・ わしき 和式 ・ どちらでもよい ) *男子の場合 立ち小便器は使用できますか。( できる ・ できない ) いしひようじ 意思表示 ( あり ・ なし ) はいせつかいじよ 排泄介助 ( よう 要 ・ ひよう 不要 ) はいせつ かんかく とお ちか 排泄の間隔 ( 遠い・近い・ふつう・自立・声掛け・時間の希望等 ) しえんほうほう 支援方法 ( )				
しょく じ 食事	かいじよ ( よう 要 ・ ひよう 不要 ) しえんほうほう 支援方法 ( ) アレルギー ( あり ・ なし ) じこかんり 自己管理 ( できる ・ できない ) *あると答えた方は具体的に記入してください。 ( )				
とう やく 投薬	ちゅうしょくご ぐすり 昼食後の薬 ( あり ・ なし ) その他時間ごとの薬 ( あり ・ なし ) ほっさじの ぐすり 発作時の薬 ( あり ・ なし ) ぐすりのかんり 薬の管理 ( ほんにん 本人 ・ しえんしゅ 支援者 ) *投薬のある方は、袋の裏面にお名前の記入をお願いします。				
その他	なに しんぱい こと 何か心配な事があれば記入してください。				

\*この情報は個人情報ですので大会以外には使用しません。

個人調査票については、北日本観光ホームページ、大会専用ページよりダウンロードいただき、  
 大会事務局 (01654-8-9310) までFAXで送付をお願いします。

※大会申込書についてはメールにて申し込みをお願いしております。お手数ですが、ご協力をお願いいたします。

だい かいほっかいどう て いくせいかい ぜんどうたいかい なよろたいかい  
第64回北海道手をつなぐ育成会 全道大会 名寄大会

かい いん ほんにんこう どうこんしんかい  
会員・本人合同懇親会  
あんない  
のご案内

【日 時】 令和元年7月27日（土）18:30～20:30

【会 場】 グランドホテル藤花 2階 大雪・銀河の間

【会 費】 5,000円

♪オープニングアクト 陽だまり合唱団（名寄心と手をつなぐ育成会）

【注 意】

- ①駐車場には限りがございます。公共機関か乗り合わせの上、お越してください。
- ②お酒を飲んだら自動車・自転車の運転はできません。
- ③アレルギーのある方は、事前にお知らせください。



## 陽だまり合唱団 プロフィール

陽だまり合唱団は名寄心と手をつなぐ育成会、社会福祉法人なよろ陽だまりの会陽だまりに通う仲間と結成されており、メンバーは毎週火曜日に合唱や踊りの練習をしています。市内各所のイベントでの発表や、3月にはEN-RAYホールにて、札幌交響楽団メンバーとのコラボコンサートも開催しました。ステキな歌声を、会場でお楽しみください♪



# 大会参加のご案内

## 1. 参加者

手をつなぐ育成会会員・知的障がいのある本人及び知的障がい福祉に関心のある各方面の方々

## 2. 参加費

### ■大会参加費

①育成会大会：4,000円〈大会資料代・お弁当を含みます〉

・参加者に同行する本人の参加費は不要。参加申込書の備考欄に「同行」と記入してください。その場合、大会資料、お弁当の用意はしておりません。お弁当を希望の方は、別途1,000円でお申し込みください。

②本人大会分科会：3,000円〈大会資料代・お弁当を含みます〉

・本人を支援する方の参加者は不要。参加申込書の備考欄に「支援者」と記入してください。但し、お弁当を希望の方は、別途1,000円でお申し込みください。

③思い出観光：3,500円

・費用にはバス代、昼食代等すべてを含みます。

・付き添いの方の参加費も本人と同額です。お一人で参加できない方は、支援者の付き添いをお願いいたします。支援者お一人が複数の方に付き添っていただくことは可能です。

※定員を超えた場合は、お申し込みをお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

④本人大会特別企画 チャレンジド：3,000円

・昼食、飲み物、おやつ代、材料代を含みます。

※募集定員50名 定員を超えた場合、お申し込みをお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

⑤1日のみのご参加の方も同額となります。

### ■懇親会・交流会参加費

懇親会：5,000円〈会場〉グランドホテル藤花

※参加費については、大会事務局の委託に基づき、北日本観光(株)が収受代行いたします。

### ■お弁当

大会当日〈7月27日(土)〉：1,000円(お茶付き)

※当日販売はいたしません。

※参加費不要の支援者、同行者の方は別途お申し込みください。

### ■参加に関し留意すべきこと

①会員分科会のコーディネーター、基調報告者、シンポジストは参加費不要です。

参加申込書の備考欄に分担名を記入してください。(例：コーディネーター)

②本人分科会の司会者、発表者、記録者及び、その支援者は参加費不要です。

参加申込書の備考欄に分担名を記入してください。(例：司会者)

### 3. 申込方法／申込先

お申し込みは、20ページにある「申込書のダウンロード方法と申込先について」をご確認いただき、大会専用アドレス『[tourist@e-kanko.co.jp](mailto:tourist@e-kanko.co.jp)』へ申込書を添付の上、送付ください。

※本大会では大会運営作業効率化の為、申込書のデータ入力と、メール申し込みのご協力をお願いいたします。ネット環境がない場合は下記連絡先までご連絡ください。

**申込締切日 令和元年6月19日(水) 必着**

【申込先・お問い合わせ先】

**北日本観光** ツーリストセンター旭川本社 TEL(0166)26-7811 FAX(0166)-23-2026  
〒070-0034 北海道旭川市4条11丁目左9号 担当者名 山田 寛(ヤマダ サトル)

### 4. お支払いについて

申込締め切り後、7月上旬に「予約確認書及び請求書」を郵送いたします。

内容をご確認のうえ、請求書に記載の銀行口座にお振込み願います。

その後7月16日より「参加のご案内、宿泊ホテル券、お弁当引換券、大会参加証」をお送り致しますので、当日必ずご持参ください。

なお、領収書につきましては振込用紙控えをもってかえさせていただきます。

また、振込手数料はお申込者様のご負担となりますので、予めご了承ください。

### 5. ご宿泊について

下記の「ホテル一覧表」よりご希望のホテルをお選びください。部屋数に限りがございます。

●宿泊設定日 令和元年7月26日(金)～7月27日(土)

●宿泊条件 1泊朝食付(税金・サービス料込)のお一人様の料金です。

●宿泊申し込みについて、次の事項にご留意ください。

①ご希望のホテル・部屋タイプは、受付順とさせていただきます。

※満室となり次第、受付を締め切らせていただきます。

②お部屋の禁煙、喫煙の希望もお取りしておりますが、希望通りにならない場合もございます。

③シングル以外のお部屋タイプをご希望の場合は、申込書の該当欄に同室希望者の番号をご記入ください。

※お申し込みの際は下記表の申込記号を、参加申込書にご記入ください。

#### ご宿泊料金表(朝食付き)／1泊分の宿泊代金(お一人様)

ホテル名	宿泊申し込み (種別番号)	利用人員	料金(諸税金込み)
グランドホテル藤花(新館) 名寄市西5条南4丁目 TEL:01654-3-2323	1	1名利用	9,500円
	2	2名利用	8,500円
ホテルマイステイズ名寄 名寄市西3条南5丁目 TEL:01654-8-8100	3	1名利用	9,500円
二条旅館(旧海晃 本館) 名寄市西2条南5丁目 TEL:01654-3-1117 四条旅館(旧海晃 新館) 名寄市西4条南4丁目 TEL:01654-2-3343	4	2～4名利用	6,500円

## 6. 変更・取消

ご変更又は、お取消の場合は弊社、北日本観光(株)まで必ずFAX（書面）にてご連絡ください。

トラブル防止の為、お電話でのお申し出は受付できません。予めご了承ください。

お申し込み後、お客様のご都合によりお取消の場合、下記の取消料が発生しますのでご注意ください。

●参加費につきましては、お申し込み締め切り後の返金はできませんので、予めご了承ください。

### 変更・取消しについて（宿泊ホテル申込み）

契約解除の通知を受けた日	不泊	当日	前日	2日前	3日前	5日前	7日前	14日前	30日前
申込数14名迄	100%	100%	70%	50%	30%	20%	10%	-	-
15名～30名迄	100%	100%	70%	60%	50%	30%	20%	-	-
31名～100名迄	100%	100%	80%	70%	60%	50%	30%	10%	-

一、%は利用日の前日から起算した基本宿泊料に対する違約金の比率です。

二、契約日数が短縮した場合は、1日分（初日）の違約金を収受します。

三、団体旅客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込をお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人員の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

※営業日（月～金）土・祝日休みの営業時間内（9：00～17：30）に起算した日数で予約取消の旨を承ります。

### 〈懇親会・昼食弁当〉

取消日	取消料
令和元年7月22日（月）17：00以降の解除	旅行代金の全額

## 7. 個人情報の取扱いについて

お申し込みの際にご登録いただきました、お客様の個人情報（氏名、住所、電話番号）につきましては、お客様との連絡及び、今大会における運送・宿泊機関等の手配に係る目的以外で利用致しません。その他の個人情報につきましては、弊社の「個人情報保護方針」に基づき取扱い、保護に努めます。

大会・懇親会参加問い合わせ

北日本観光 ツーリストセンター旭川本社 TEL(0166)26-7811 FAX(0166)-23-2026

〒070-0034 北海道旭川市4条11丁目左9号 担当者名 山田 寛(ヤマダ サトル)

事務局 名寄心と手をつなぐ育成会

住所：名寄市大通南2丁目2番地 TEL：01654-3-1221

FAX：01654-8-9310

# 申込書ダウンロード方法と申込先について

北日本観光ツーリストセンター

『北日本観光ツーリストセンター』で検索



ここをクリック



ここをクリックして  
ファイルをダウンロードしてください



大会専用アドレス『[tourist@e-kanko.co.jp](mailto:tourist@e-kanko.co.jp)』へ  
申込書を添付の上、送付ください

※本大会では大会運営作業効率化の為、申込書のデータ入力と、メール申し込みのご協力をお願いいたします。(ネット環境がない場合は下記連絡先までご連絡ください)

## 【申込先・お問合せ先】

北日本観光ツーリストセンター旭川本社 〒070-0034 旭川市4条11丁目左9号  
TEL(0166)26-7811 FAX(0166)-23-2026 担当者名 山田 寛(ヤマダ サトル)

